

自分の投資を可視化するために

～チャート事例～

文責:福寄 儀寛

自分の好きな場面を探すためのシンプルチャート

自分の主要な時間軸を短期と中期で上下に表示しつつ
自分の主要取引通貨ペアとそのクロス通貨を横に表示。
表示テクニカルはMA20、MA5のみ

5m

EUR/GBP

個別材料の
影響を見る
(Brexitなど)

USD/JPY

ドル円は
常にCheck

EUR/USD

ユーロドルを
主に取引

4H



見る際のイメージとして

まず、それぞれの1枚チャートの中で下記をチェック

長期：MA20に対してMA5がどちら側にあるか

中期：MA20に対して現レートがどちら側にあるか

短期：MA5に対して現レートがどちら側にあるか



長期～短期まで
現状は全て上方向

もう少しだけ細かい
ところを補足すると

短期軸では高値を
抑えられてMA5に
触れるくらいまで押
してきている。

短期の揺り戻しと
中期～長期ではま
だトレンド継続中。

1枚だけ見た時のトレードパターンとして

5分足(この時点で短期チャートですが)その中で見た時の
中期～長期はトレンド上方向。これを短期売買で抜く場合
(1)トレンド方向に直近高値を狙ってエントリーする。
という手法があり得ます。



エントリーポイント
はMAに接したとき
にそれを抵抗として
反発しやすいため

MA5との接点で
反発を確認しては
いるか、さらに
MA20との接点まで
引き付けるか。

MA同士の開き方も
トレンド判断に用い
ます。

1枚だけ見た時のトレードパターンとして

もう一つのトレードパターンとして
(2) 直近高値を撤退ラインと想定して逆張りエントリーする
という手法もあり得ます。その場合は1次的な利食いの
ターゲットはこの図の場合MA20との接点まで、など。



この時意識するのは
MA20も時系列と
共に上に伸びてきて
いるため利食い値幅
はより狭くなること。

また、利食いに向けて
MA5も抵抗となり、
MA5で跳ねて高値を
試しに行く可能性も高
いこと、などがあげら
れます。

値幅・可能性共にや
や分の悪いトレード。
(ここだけ見ると)

そこで、他の時間軸・通貨ペアと照らし合わせてみる

まず、最初に重視するのは大きな時間軸。EUR/USDの4Hではちょっと買いでは入りたくない場面。
USD/JPYでは5Mで五分、4Hはやや↑。EUR/GBPでは5Mはやや↑、4Hは長期やや↑短期↓。

5m

EUR/GBP

4Hで短期下落トレンド。
中長期は上方向。
5分足の短期では上に
節目有り。波形は↑。

USD/JPY

USD自体は揉みあい
～4Hでは少し戻す
(上がる)可能性あり。

EUR/USD

4時間足では
長・中・短期で
下トレンド
(発生開始)

4H

短期より長期のほうがトレンドは正確(ダマシが少ない)
 MA軸よりも直近高値/安値の方が重要度高め。
 特に何度もサポート&レジスタンスとなっている節目は重要度高い。

5m



EUR/GBP

4H 短期↓ 中長期↑
 5M 短期↑ だが節目接触

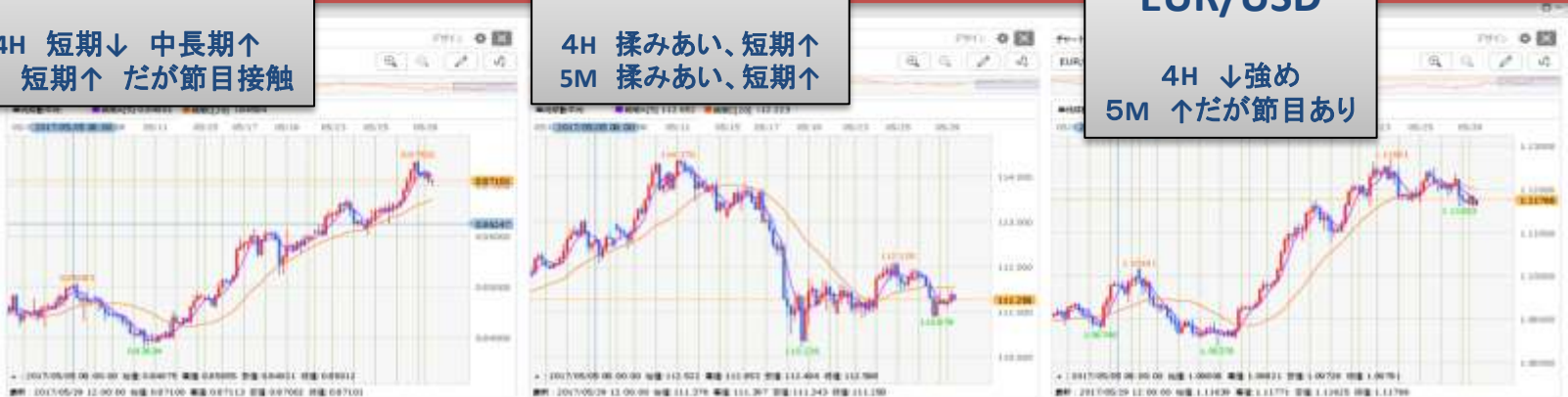
USD/JPY

4H 揉みあい、短期↑
 5M 揉みあい、短期↑

EUR/USD

4H ↓強め
 5M ↑だが節目あり

4H



この場面であれば、自分の場合 EUR/USDを短期でショート参戦。

撤退ラインを5分足の直近高値に置く。

ターゲットレートは4Hの直近安値。2次のほうも可能性あり。エントリーは5分足のMA5を下抜けてから。超短期ならMA20接点で逃げてても。

5m



EUR/GBP

4H 短期↓ 中長期↑
5M 短期↑ だが節目接触

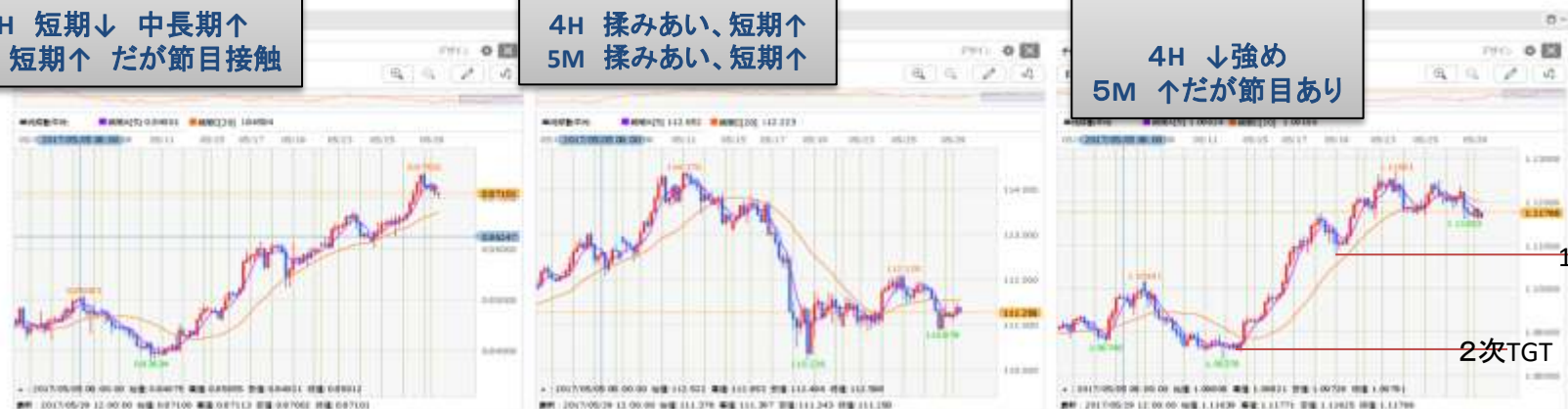
USD/JPY

4H 揉みあい、短期↑
5M 揉みあい、短期↑

EUR/USD

4H ↓強め
5M ↑だが節目あり

4H



1次TGT

2次TGT

この資料を作成途中ですが、レートが動いていたので進捗を。まだ結果は出ていません、がMA5を抜けて10Pips程下げてから揉みあい中。MA5を抜けた接点部分は髭になっていました。同じように下向き参加者が多そうな気配。



このように、複数の時間軸と、複数の通貨ペアを優先度の強弱を持ちながら明確な指標(MAの上か下か、どうクロスしているか)で判断する癖をつけること。

自分なりのルールで取引を重ねていく中で、これは良かった、これは勝ちやすい場面だ、という場面が掴めるようになってきます。そのとき「狙った根拠が変わった場合はちゃんと逃げる」癖も同時に付けることが大切です。

先ほどのエントリールールであれば、5分足はともかくとして、4HでMA20を上を抜けてきたら一旦撤退します。MA5との接触で判断するかどうかは要検討。



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生の可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562